

2026年10月15日
南海電気鉄道株式会社

南海電鉄なんば駅2階中央改札口リニューアルが 「2026年度グッドデザイン賞」を受賞 案内サインシステムは「第60回日本サインデザイン賞 金賞」を受賞

南海電気鉄道株式会社(社長:梶谷 知志、以下「南海電鉄」)では、「南海電鉄なんば駅2階中央改札口リニューアル」が、『2026年度グッドデザイン賞』(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。また、同コンコースのリニューアルにあわせて導入した駅案内サインシステムについても『第60回日本サインデザイン賞 金賞』(主催:公益社団法人日本サインデザイン協会)を受賞しました。



リニューアル後のなんば駅2階中央改札口コンコース



リニューアル後のなんば駅2階中央改札口コンコースの案内サイン

■南海電鉄 社長 梶谷 知志 コメント

このたび、なんば駅2階中央改札口のリニューアルと案内サインシステムが、それぞれ栄誉ある賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。今回のリニューアルでは、薄暗い印象のあったコンコースをなんばの拠点にふさわしい、明るく魅力的な駅空間へと刷新するとともに、案内サインの視認性や情報の伝わりやすさにもこだわり、誰もが迷わず快適に利用できる駅づくりを目指しました。今回の受賞を励みに、今後も駅空間と案内環境の双方に磨きをかけ、より快適で魅力ある駅づくりに取り組んでまいります。

1. 南海電鉄なんば駅2階中央改札口コンコースのリニューアルについて

南海電鉄なんば駅は、一日平均約231,000人(2025年度)のお客さまが乗降する南海電鉄最大のターミナル駅です。このなんば駅のメインエントランスの一つである2階中央改札口コンコースをリニューアルし、2025年9月27日に供用を開始しました。本リニューアルでは、柱デザイン・照明計画を中心とする「駅空間」と、視認性・可読性の向上を目指した「案内サインシステム」の2つを柱として実施し、「新たな南海電鉄の拠点空間を作ること」と「情報を正しく伝えること」との両立を目指しました。本リニューアルにおける駅空間の設計は、竹中工務店、案内サインのデザインは、デザインパートナーである株式会社 GK 京都(代表取締役社長:麻田 風児)との協働により実現しました。

※リニューアル工事完了時のプレスリリース(2025年9月29日): https://www.nankai.co.jp/news/250929_1.html



■担当者コメント

より良い駅空間を目指し、何度も試行錯誤を重ねてきました。今回、駅のリニューアルと案内サインの双方が評価され、これまで取り組んできたことが一つの形になったことを嬉しく思います。これからも、多くのお客さまに親しまれる駅になれば嬉しいです。

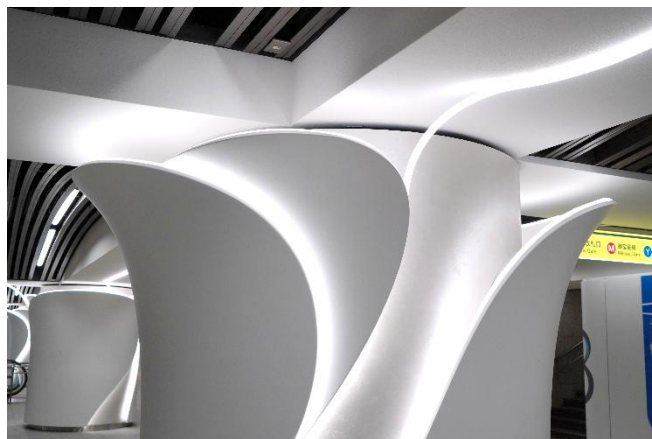
2. 「2026年度グッドデザイン賞」受賞 — 駅空間デザインについて —

今回のリニューアルでは、「LOOP」をコンセプトに、曲線を活かした白い柱が際立つ明るい駅空間を創出しました。LOOP LINE(多様性を巻き込む進化・循環)と WHITE LOOP(大阪・なんばの活力を際立たせる白)を組み合わせることで、人と街の多様性を受け入れ、進化・循環を続ける駅の姿を表現しています。構内に立ち並ぶ柱は「LOOP(円)」を重ね合わせたデザインとし、コンコース内全体には柱や天井を伝うライン照明を取り入れることで、次世代的な駅空間を実現しました。

あわせて、南海本線側エリア(西側)における改札口周辺の混雑緩和を目指し、コンコースの壁際に椅子や大型マップ・アート作品を設置するなど、お客さまの通行動線と滞留場所を整理する取り組みも実施しました。



「LOOP」をコンセプトにリニューアルした
なんば駅2階中央改札



柱や天井を伝うライン照明

■グッドデザイン賞審査委員 評価コメント

駅コンコースのリニューアルプロジェクト。低い天井や太い柱などの空間的な制約を与条件としつつ、多くの人をストレスなく移動させるわかりやすさが求められ、鉄道運行を継続しながら改修をするという難しさを克服し、明るくわかりやすい空間で人々を迎え入れる大阪の南の玄関口を実現している。柔らかな曲面の柱は、現代的でありながら優雅さがあり、登録有形文化財にもなっている南海ビルの華麗なファサードのイメージとも調和している。

3. 「第60回日本サインデザイン賞 金賞」受賞－案内サインシステムについて－

なんば駅2階中央改札口コンコースのリニューアルにあわせ、37年ぶりに駅構内の案内サインシステムを全面的に見直しました。指定書体のデジタル対応不足や、時代の変化に伴う現場ニーズとマニュアルとの乖離といった課題の解消に加え、「南海ブランドの再構築」という視点から、一貫したデザインポリシーの検討を重ねました。

新サインの特徴は「Connected Line」です。路線別に分けたラインカラーが直感的な案内情報の識別を手助けし、角を削ったフォルムがスタイリッシュさと柔らかさを両立しています。番線を表す数字には角を削ったオリジナルフォントを採用し、階段部には大きく掲示することで案内性を高めました。サインを単なる“情報伝達の装置”としてだけでなく、“ブランドを体験させるメディア”として捉え直すことで、南海電鉄らしさの醸成と印象の定着を図っています。今後は他駅への展開も予定しています。



オリジナルフォントによる大きな番線表示



角を削ったオリジナルフォントのサイン

各賞について

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザイン評価・プロモーション活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

(<http://www.g-mark.org/>)



GOOD DESIGN
AWARD 2026

日本サインデザイン賞とは

1966年創設の、日本で唯一のサインデザインを対象とした顕彰事業です。優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図ることを目的としています。「人に伝える情報」を整え、より分かりやすく魅力的な環境づくりに貢献するサインデザインの価値や役割を広く共有し、社会活動に寄与することを使命としています。(<https://sda-award.org/>)

SDA●AWARD

以上